

平成27年度事務事業評価シート					取組みコード	51136
区分	イベント	担当課	農政課	作成日	平成27年5月11日	
事業名	園芸振興対策事業費(農林まつり負担金)	開始年度	昭和50年度	予算科目	5.1.3.3.1	

1 事業の概要

総合計画での位置づけ			
部	第5部 多彩な産業の活力あるまちづくり	章	第1章 特色ある農林業の振興
節	第1節 農業の振興	基本施策	3 地域農業の振興
取組みの基本方向 (6)農作業体験の場の提供や食と農に関する普及・啓発をはかります。			
根拠法令等	愛川町農林まつり開催規約		
目的 (誰・何を対象に、何のために)	町民等を対象に町内で生産される農林畜産物等を紹介し、消費拡大を促すとともに、町の緑の生活環境の向上と緑化思想の高揚を図る。		
内容・方法 (何を行って、いるのか)	町内産農林畜産物の即売をはじめ、農林業を身近に感じ、楽しめる啓発事業として、木工教室、春の草花・種子のプレゼントやゴーヤを育ててグリーンカーテンを作るコーナー、来場されたお客様が自ら楽しめる米のすくい取り、ビンゴ大会、ステージイベントを実施し、町内の農業について宣伝に努める。		

2 指標(事業の成果・活動内容等を数字で表します)

本事業が属する総合計画の節の成果指標		指標名		平成21年度	平成28年度				
		『農業の振興』について「満足」と感じる住民の割合		30.5%	41.0%				
(A)総合計画の節の目標を達成するため本事業に求められる成果				より多くの町民が農林まつりに来場していただき、町内の農林業生産物等に触れていただくこと					
(A)の成果をあげられているか測るための指標(成果指標)	増減	指標の説明		項目	基準年度 (平成24年度)	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
来場者数(人)	増	地消の動向を見る		計画値		10,000.0	10,000.0	10,000.0	
				実績値	5,000.0	11,000.0	12,000.0	12,000.0	
				達成度※自動計算		110.0	120.0	120.0	
(B)成果指標の目標を達成するため本事業において町が行う活動				まつり開催の浸透を図ること					
(B)の活動状況を測るための指標(活動指標)	増減	指標の説明		項目		平成25年度	平成26年度	平成27年度	
周知のための媒体数(件)	増	同左		計画値		6.0	6.0	6.0	
				実績値		6.0	6.0	6.0	
				達成度※自動計算		100.0	100.0	100.0	

※ 増減欄は、指標の値について、増加が望ましい場合に「増」、減少が望ましい場合に「減」を記入する。

3 事業費の推移と財源内訳

				(E) 平均人件費(円/年)	8,300,000
年 度		基準年度(決算) (平成24年度)	平成25年度(決算)	平成26年度(決算見込)	平成27年度(予算)
(A) 事業費(円)		315,000	315,000	315,000	365,000
(B) 概算職員数(人)		0.250	0.250	0.250	0.250
(C) = (B) × (E) 人件費(円) ※自動計算		2,075,000	2,075,000	2,075,000	2,075,000
(D) = (A) + (C) 総事業費(円) ※自動計算		2,390,000	2,390,000	2,390,000	2,440,000
単位当たりコスト※自動計算		478.0	217.3	199.2	203.3
財源内訳(円)	特定財源	国庫支出金			
		県支出金			
		地方債			
		その他			
	一般財源※自動計算		2,390,000	2,390,000	2,440,000

4 事業の項目別評価(分析)

項 目	判定基準	判定 ※一部自動判定	評価 ※自動判定
妥当性 (公費を投入して実施することが妥当な事業か)	法令等で義務付けられた事業である		A
	民間サービスで同様の事業は実施されていない、市場原理に委ねることができない	○	
	国や県において同類種の事業が実施されていない	○	
	事業開始時から事業目的や町民のニーズの変化がない	○	
	事業・サービスの提供時間帯及び場所は公平に提供されている	○	
	受益に応じた負担は適正である	○	
	事業の実施による効果が不特定多数の人に広く及ぶ性質である	○	
	町民の日常生活に必要不可欠な事業である		
上記のいずれにも当てはまらない			
有効性 (基準年と比較して成果が上がっているか)	成果指標について平成26年度の目標を達成している	○	A
	基準年度と比較して成果が向上している	○	
効率性 (なるべく費用をかけずに成果を上げているか)	基準年度と比較して費用の縮減ができている (費用の縮減率が成果の向上率以上か)	費用減、成果アップ	A
有用性 (施策の成果指標の目標達成に貢献しているか)	総合計画の節の目標達成のための本事業の効果	間接的	B
	総合計画の節内での本事業の優先順位	高い	
総合評価 ※自動判定		良好に実施できている	

5 特記事項

平成24年度は、開催日当日が大雨警報が発せられるほどの天気であったため、来場者数が例年より減少しました。
平成26年度及び平成27年度は、晴天だったため、来場者数が多くなりました。

6 自己評価(担当課)

評価結果	☒ 現状維持	☐ 拡 充	☐ 改 善	☐ 縮 小	☐ 再 構 築	☐ 廃 止
理由	一度に、町内産農畜産物の紹介や担い手・参加団体の交流が図られる機会である。					
今後の方向性	本年度は5月3日(日)に開催した。今後も、町内産農畜産物のPRのため、5月上旬に開催したい。					

7 1次評価(庁内行政評価委員会)

評価結果	☒ 現状維持	☐ 拡充	☐ 改善	☐ 縮小	☐ 再構築	☐ 廃止
今後の方向性に係る意見等	所管課の方向性のとおり					

8 2次評価(外部評価:行政改革推進委員会)

評価結果	☐ 現状維持	☐ 拡充	☐ 改善	☐ 縮小	☐ 再構築	☐ 廃止
今後の方向性に係る意見等						

9 2次評価(実施のない場合は1次評価)を踏まえた対応案(担当課)

現状のまま引き続き事業を実施する。

10 町の最終方針(行政改革推進本部会議)

評価結果	☒ 現状維持	☐ 拡 充	☐ 改 善	☐ 縮 小	☐ 再 構 築	☐ 廃 止
理由・改善方針	現状のまま引き続き事業を実施する。					